

●平成27年度施政方針

自立した自治体の 実現を目指して

小沢昌記市長は27年第1回奥州市議会定例会で、本年度の市政運営の基本となる施政方針を述べました。その概要を紹介いたします。
■本庁政策企画課（内線415）

27年度は、本市が満10歳を迎える年です。国の財政支援をテコに財政の健全化を目指してきましたが、いよいよ自立した自治体を実現する時期が到来します。

所期の目的を実現するために掲げた志を今一度かみしめ、小異を捨て、大同団結のうえで、新生奥州市のまちづくりに取り組める準備に万全を期して行くではありませんか。

私には、合併10年の経過措置を経て、新生奥州市を自立させねばならないという使命があります。まさに政治家の力量が問われる1年になるものと気を引き締めてまいります。

地域自治区のあり方

憲法がいう「地方自治の本旨」は、独立した団体として自立して自治を

財政運営の健全化

27年度一般会計当初予算は、新市建設計画事業を確実に盛り込むとともに、財政調整基金を取り崩さずに新たな行政需要にも対応しました。

歳入は、財源の多くを地方交付税に頼る中、国の動向は不透明な情勢にあります。市税収入では景気回復の兆しが見られるものの、一般財源の確保は依然として厳しい状況です。

一方、歳出は、定員適正化計画の実施により人件費の抑制が進んでいるものの、社会保障関連経費の増加により、義務的経費の抑制が進まず、新たな行政需要や住民要望への対応、老朽化施設の修繕経費などの捻出に苦慮しています。

実質公債費比率などは、数値の改善が見られるとはいえ、県や全国と比べて依然として高い水準です。

行財政改革の推進

着手以来3年目となる「事務事業・公の施設の見直し」は、合併効果を引き出す重要な取り組みです。

社会状況が日々変化する今日、環境の変化に適切に対応し、組織、業務、人員を不断に見直す行財政改革は、自治体に課せられた責務として、職員一丸となって進めます。



テージに、円滑に移行する準備をしっかり進めます。

市民が自ら持っている力を少しずつ出し合いながら共に支え合う「協働のまちづくり」。これを確かなものとし、さらなる飛躍に向けたステップとするため、協働の提案テール試行の成果を検証しながら、協働の取り組みの裾野を広げます。

将来を見通した行政組織の構築

28年度以降の行政組織をより効率的で機能的な体制とします。

これまで、住民負担のあり方に配慮し、多様な住民ニーズに応えるため、工夫を凝らしながら体制の縮小を進めています。しかし、ニーズの多様化の進展はもちろん、福祉、医療分野の課題も顕在化し、一層行政運営が難しくなってきました。今後は、運営経費の縮減と課題解決を可能とする組織体制を判断します。

●平成27年度教育行政方針

学びのまちづくり

高橋清融^{せいりゅう}教育委員長は27年第1回奥州市議会定例会で、教育行政方針を述べました。その概要を紹介いたします。
■市教育委員会事務局教育総務課（江刺総合支所内線411）

たくましく生きる力をはぐくむ学校教育環境の充実

就学前教育は生涯にわたる人格形成の基盤を担うことから、人との関わりを重点に、健康な体、環境への好奇心や探究心、言葉や表現などを育む教育を推進します。そのため、幼稚園と家庭が協働して教育活動を推進できるように、幼稚園・保育所などと小学校の円滑な接続を進めます。学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒一人一人に確かな学力を保障する教育の充実に努めます。そのため、授業実践拠点校を拡充し、指導力の向上を図ります。

胆沢区統合中学校の29年4月開校を目指して胆沢区中学校統合促進協議会を中心とした地域の人たちと連携し、統合準備を進めます。

水沢南小学校校舎などの改築および改修事業を計画的に進め、併せて老朽化した教育施設の耐震補強工事

を行います。また、通学路安全推進事業により合同点検した結果に基づき安全対策を進めるとともに、完了箇所について評価を実施し、安全性の検証を行います。

生きがいあふれる生涯学習・文化活動の充実

市民一人一人が、学びの成果を生かし、豊かで生きがいのある人生を構築することができるよう、関係機関と連携して市民へ学習機会の情報提供を行うとともに、助言指導などの学習活動支援を行います。

教育振興運動や青少年リーダー育成事業、放課後子ども教室事業などの各種事業を実施し、青少年の意欲の向上と心豊かな人間性の育成を図ります。

次代をつむぐ歴史遺産の保存と活用

胆沢城跡の歴史公園整備に係る発

みんなで創る自立したまちづくり

- 市民憲章の普及
- 地域力向上のための人材育成
- 協働の提案テーブルの試行運用
- ILC実現に向けた市民周知

未来を拓く人を育てる学びのまちづくり

- 学校施設改築、耐震補強事業の推進
- 胆沢区統合中学校開校に向けた準備
- 希望郷いわて国体成功のための準備

健康で安心して暮らせるまちづくり

- 医療環境改善に向けた医療局設置
- 子育て支援の着実な事業実施
- 地域包括ケアシステムの構築
- 高齢者などの相談体制の充実

賑わいと豊かさのあるまちづくり

- ブランド農畜産品の生産・販路拡大
- 市商店街活性化ビジョンの策定
- 市観光基本計画の事業推進
- ジョブカフェ奥州の開設

豊かな自然と共生する安全なまちづくり

- 省エネルギー対策などの促進
- 官民一体となった防災体制の強化
- 安全で心地よい生活空間のまちづくり
- 通学路や生活道路などの整備
- 前沢区住宅団地建設の推進
- 水道老朽管の計画的更新と整備

掘調査を実施し、歴史的価値の解明に努めるとともに、白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡の世界遺産拡張登録推薦書の作成に向けて、基礎的な調査研究を進めます。

また、指定有形文化財の修繕支援や重要文化財の適切な保存管理に努めるほか、無形民俗文化財の保存活動を促進するための支援を行います。

潤い豊かなスポーツライフの推進

市民が週1回以上、運動やスポーツに取り組む「全市民週一運動」の推進に向け、チャレンジデーなどのスポーツイベントを開催するほか、市体育協会やスポーツ団体と連携し、競技水準の向上に努めます。

28年度に開催の「国体、障がい者スポーツ大会」への対応については、会場となる施設の修繕や維持管理に努めます。また、大会の成功に向けて、リハーサル大会や第42回東北総合体育大会の開催を支援します。

*全文は市HPでご覧いただけます。

奥州市 施政方針

検索